

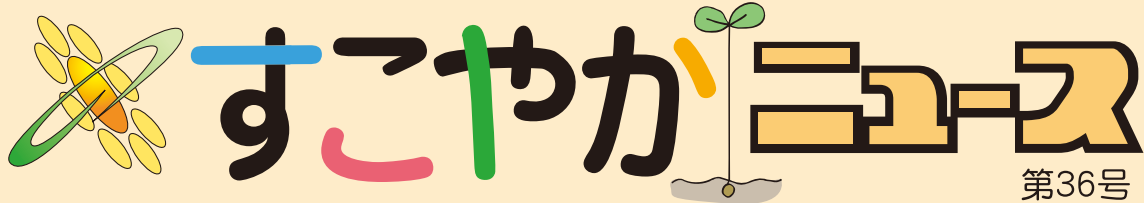
外来診療担当医表		野上病院						平成26年11月現在
		月	火	水	木	金	土	日
内　　科	9：00～12：00	川口	上野・林	石橋		川口・上野 有安	上野	
	14：00～16：00			石橋		有安		
	14：00～17：00	上野・朝井	林・朝井	川口	川口・大野(基) 武田	生駒		
循 環 器 内 科	9：00～12：00		下角	下角			下角	
	14：00～17：00							
外　　　科 消 化 器 外 科 肛 門 外 科	9：00～12：00	金川	小畑	野上(浩)	金川・勝部	野上(浩)	小畑	
	14：00～16：00					小畑		
	14：00～17：00		金川	勝部				
	16：00～17：00					野上(浩) (第4週以外)		
眼　　　科	9：00～12：00	戒田	戒田	戒田	戒田	戒田 10時～田中(手術)	京大(第1・3週) 日赤(第2・4・5週)	
	14：00～17：00	戒田		戒田				
耳　　　鼻 い ん こ う 科	9：00～12：00	山根(11：00迄)			森中	箕輪	山根	
	14：00～17：00		八谷					
皮　　膚　科	9：00～12：00	池田(第1・3・5週) 三木田(第2・4週)		田中		奥平	嶋(第1・3・5週) 安田(第2・4週)	松中(第1週)
泌 尿 器 科	9：00～11：00						松村(第1・3週) 上門(第2・4週) ※第5週 休診	
	9：00～12：00				楠見			
	10：00～12：00	楠本						
脳 神 経 外 科	9：00～12：00						出原(第1週)9:30～ 森内(第3週)9:30～ 高垣(第2・4・5週)	
	14：00～17：00		藪内					
リ ウ マ チ 科	14：00～16：00	西村						
リハビリテーション科	9：00～12：00	朝井 第3週のみ上野	朝井	朝井	平野	小畑	川口	

専　門　外　来	禁煙外来	プラセンタ外来 (火曜日午後)	肛門外来	リウマチ外来	糖尿病外来	肝臓外来	膠原病外来 腎臓(人工透析)外来
	野上(浩)	林	金川	西村	石橋・有安	武田	大野(基)・生駒

※内科・循環器内科・外科・消化器外科・肛門外科・眼科・リウマチ科の診察は、一部予約制となります。※診察時間等の変更等もありますので、ご確認ください。

のがみ泉州リハビリテーションクリニック

		月	火	水	木	金	土	日
整 形 外 科	9：00～12：00	野上(倫)(雅史)	西村 装具(野上(倫))	野上(倫)	西村	野上(倫)(雅史)	田中(第1・3・5週) 真本(第2・4週)	
	16：30～19：00	野上(倫)						
	17：00～19：00			西村		野上(雅史)		
内　　　科	9：00～12：00					大野(基) (プール検診)		
	16：30～19：00	大野(基)				大野(基)		
リ　ハ　ビ　リ	9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	
	14：00～15：30	物療	物療	物療	物療	物療		
	17：00～19：00	物療		物療		物療		



第36号

- 発　行 -
2014年11月

- 編　集 -
野上病院
院内新聞委員

泉南市樽井1-2-5
TEL 072-484-0007

視能訓練士について

眼科　視能訓練士　永井　麻美

視覚（視能）は、人間が活動するための外界情報の80%を超える情報源となっており、快適な生活を確保するためには運動機能が健全であることとともに、必要な外界情報を正しく得る為に欠かせない視覚（あるいは視能）も健全に保持することが求められています。

視能訓練士（Orthoptist）とは視覚を訓練する専門家です。狭義では眼科医の指示のもとに、視機能検査のほか、小児の斜視や弱視の低視力者に対する視機能回復訓練を行う職種です。だが、近年眼科の主たる疾患は白内障、緑内障や加齢黄斑変性、糖尿病合併症として生じる網膜症など高齢者による疾患が増加した。その為、視能訓練士の役割にも変化が生じています。斜視、弱視患者様への訓練のみではなく、幅広い疾患による低視力者へのケアを行うよう役割がシフトしてきました。眼科は他の科とは異なり、ほとんどの場合まず検査を行ったうえで診察を行っています。眼科では数多くの検査が

行われるが、患者様の協力が必要となる自覚的な検査（視力検査、視野検査）のデータが診療の大きな助けとなっています。患者様にも検査に対する正しい知識が必要となり、視能訓練士がいることにより、迅速かつ正確な自覚的検査が可能となります。

野上病院眼科の患者様は高齢の患者様が多く、疾患も多種多様です。疾患が多種多様であればあるほど視力、視野も片眼ずつで異なり、両眼で生活を行う際に障害になる場合もあります。疾患により程度は異なるが、治療が不可能で視機能障害が不可逆性である場合、残存している視力や視野を眼鏡などの補助具を用いて有効に活用し、視覚の質（クオリティ・オブ・ビジョン）の向上を促すことも視能訓練士の役割です。低視力（ロービジョン）の患者様の場合は検査員以上に患者様自身が自分の眼の状態を正しく理解することが必須であり、その上で補助具を使用してこそ視覚の質は良好に保たれます。眼鏡を処方する検査員にも正しい知識が求められ、視能訓練士として患者様の視覚の質の維持と向上への貢献をしています。



10月15日（水）からインフルエンザの予防接種を開始しています。

インフルエンザの予防に効果が期待できるのがワクチンの接種です。流行シーズンを迎える前の11月ごろの接種をおすすめします。効果が現われるのはおよそ2週間後からであり、その後約5カ月間持続するといわれています。接種は予約制ですので前日までにご連絡ください。料金については年齢や市町村によって異なりますので、病院受付でご確認下さい（平日の14時～17時）。

